



2020年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社インテリジェント ウェイブ

コード番号 4847 URL <https://www.iwi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井関 司

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 垣東 充 TEL (03)6222-7015

四半期報告書提出予定日 2019年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第1四半期の業績 (2019年7月1日~2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第1四半期	2,417	3.4	141	100.1	140	79.3	91	89.6
2019年6月期第1四半期	2,337	0.7	70	△45.1	78	△38.7	48	△42.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第1四半期	3.47	—
2019年6月期第1四半期	1.83	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第1四半期	9,710	6,313	65.0
2019年6月期	10,032	6,372	63.5

(参考) 自己資本 2020年6月期第1四半期 6,313百万円 2019年6月期 6,372百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	9.00	9.00
2020年6月期	—	—	—	—	—
2020年6月期(予想)	—	0.00	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2020年6月期の業績予想 (2019年7月1日~2020年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,000	△0.8	340	26.4	360	27.8	250	22.1	9.50
通 期	10,600	1.5	1,000	8.5	1,040	9.1	720	5.3	27.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年6月期1Q	26,340,000株	2019年6月期	26,340,000株
② 期末自己株式数	2020年6月期1Q	34,907株	2019年6月期	31,907株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年6月期1Q	26,306,055株	2019年6月期1Q	26,314,705株

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間の国内経済情勢は、緩やかな拡大の継続を基調として、個人消費も緩やかに増加し、設備投資も増加傾向を続けているものとみられます。

当社の主要な事業領域であるクレジットカード業界においても基調は変わらず、設備投資案件に係る商談は底堅く推移しています。

消費税や大規模な国際行事の開催等の重要なイベントを控えて、キャッシュレス決済の普及や決済手段の多様化は急速に進みつつあります。

当社は、安定的な事業運営を基本方針として、事業領域、顧客基盤の拡大のために新規の事業機会の獲得へ積極的に活動しています。

当第1四半期累計期間においては、売上高は2,417百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益141百万円（前年同期比100.1%増）、経常利益140百万円（前年同期比79.3%増）、四半期純利益91百万円（前年同期比89.6%増）を計上しました。

金融システムソリューション事業においては、前年同期と比較して特定の大型開発案件の売上高は減少しましたが、既存顧客を中心にその他案件の売上高が増加したため、前年同期を超える売上高を計上しました。

人件費の増加や執務室の増床等により販管費は増加しましたが、ソフトウェア開発業務は順調に推移し、クラウドサービス事業も増収によって損益が改善したため、営業利益は前年同期の実績を上回りました。

(金融システムソリューション事業)

金融システムソリューション事業においては、主にクレジットカード会社を中心とした顧客に対して、ソフトウェア開発や保守、パッケージソフトウェア及びハードウェアの販売による売上を計上しました。

売上高は2,243百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益は207百万円（前年同期比98.2%増）となりました。

前年同期に、特定の顧客向けに約300百万円の売上を計上した大型開発案件のプロジェクトは、前期（2019年6月期）で終了し、当期は同等規模の開発案件はありませんが、その他の既存顧客向けの開発案件の売上を伸ばしたため、売上高は前年同期を上回る実績となりました。

ソフトウェア開発業務は順調に推移し、不採算の案件はありませんでした。また、クラウドサービス事業は当初計画どおり売上が増加したため、損益は改善しました。この結果、金融システムソリューション事業の営業利益は、前年同期を上回りました。

(プロダクトソリューション事業)

プロダクトソリューション事業においては、企業組織内部からの情報漏えいを防ぐ当社製品CWAT（シークレット）と、他社製のサイバーセキュリティ対策ソフトウェアの販売によって、売上高は173百万円（前年同期197百万円）、営業損失は66百万円（前年同期営業損失は34百万円）となりました。

前年同期に比較して売上高は減少しました。相対的に粗利率の高い製品の売上高が減少したことから、営業利益も前年同期を下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末に比べ321百万円減少し、9,710百万円となりました。うち流動資産は、前事業年度末に比べ457百万円減少し、5,596百万円となりました。これは主に、たな卸資産が119百万円増加しましたが、現金及び預金503百万円の減少並びに受取手形及び売掛金が95百万円減少したためです。固定資産は、前事業年度末に比べ135百万円増加し、4,113百万円となりました。これは主に、ソフトウェア93百万円減少しましたが、投資有価証券125百万円の増加があったためです。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末に比べ263百万円減少し、3,396百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金157百万円の増加並びに賞与引当金105百万円増加しましたが、未払法人税等が314百万円減少したためです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末に比べ58百万円減少し、6,313百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金86百万円増加しましたが、利益剰余金が145百万円減少したためです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年8月7日付「2019年6月期 決算短信」で公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,254,913	2,751,227
受取手形及び売掛金	1,455,554	1,360,456
たな卸資産	640,892	760,538
その他	702,914	724,293
流動資産合計	6,054,274	5,596,515
固定資産		
有形固定資産	540,988	567,867
無形固定資産		
ソフトウェア	1,188,857	1,095,098
その他	152,363	298,817
無形固定資産合計	1,341,221	1,393,915
投資その他の資産		
投資有価証券	1,234,859	1,360,555
その他	860,899	791,390
投資その他の資産合計	2,095,759	2,151,945
固定資産合計	3,977,969	4,113,729
資産合計	10,032,243	9,710,244
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	332,221	489,563
未払法人税等	359,462	44,771
前受金	1,428,303	1,455,595
賞与引当金	278,538	383,908
役員賞与引当金	40,175	5,938
その他	619,730	411,795
流動負債合計	3,058,430	2,791,572
固定負債		
退職給付引当金	451,172	461,314
役員退職慰労引当金	23,885	25,413
資産除去債務	86,947	87,139
その他	39,292	30,942
固定負債合計	601,297	604,809
負債合計	3,659,728	3,396,382

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	843,750	843,750
資本剰余金	561,186	561,186
利益剰余金	4,518,091	4,372,476
自己株式	△14,955	△14,955
株主資本合計	5,908,072	5,762,457
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	464,442	551,405
評価・換算差額等合計	464,442	551,405
純資産合計	6,372,515	6,313,862
負債純資産合計	10,032,243	9,710,244

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年7月1日 至2018年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自2019年7月1日 至2019年9月30日)
売上高	2,337,451	2,417,395
売上原価	1,811,925	1,795,894
売上総利益	525,526	621,500
販売費及び一般管理費	454,956	480,273
営業利益	70,569	141,227
営業外収益		
受取利息	195	103
受取配当金	506	450
受取保険金	4,000	—
助成金収入	3,474	—
保険事務手数料	214	215
その他	731	218
営業外収益合計	9,122	987
営業外費用		
支払利息	46	29
コミットメントフィー	1,005	1,180
その他	17	47
営業外費用合計	1,070	1,258
経常利益	78,622	140,956
特別利益	—	—
特別損失	—	—
税引前四半期純利益	78,622	140,956
法人税、住民税及び事業税	74,107	34,135
法人税等調整額	△43,556	15,663
法人税等合計	30,551	49,798
四半期純利益	48,070	91,157

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第1四半期累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	金融システム ソリューション事業	プロダクト ソリューション事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,140,005	197,445	2,337,451	2,337,451
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,140,005	197,445	2,337,451	2,337,451
セグメント利益又は損失(△)	104,814	△34,245	70,569	70,569

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益又は損失の金額の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しているため、差異調整は行っていません。

Ⅱ 当第1四半期累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	金融システム ソリューション事業	プロダクト ソリューション事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,243,429	173,966	2,417,395	2,417,395
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,243,429	173,966	2,417,395	2,417,395
セグメント利益又は損失(△)	207,711	△66,483	141,227	141,227

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益又は損失の金額の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しているため、差異調整は行っていません。